

監査報告書

令和6年度の足利大学公的研究費監査結果について下記のとおり報告いたします。

記

1. 監査日時 令和6年11月18日～令和7年3月31日
2. 監査対象部署等
 - (1) 科研費 研究代表者：19研究 研究分担者：11研究
 - (2) 会計課・庶務課
3. 監査担当者 内部監査室長
4. 監査対応者
 - (1) 科研費使用研究者
 - (2) 会計課担当者・庶務課担当者
5. 監査項目
「公的研究費」監査マニュアルに基づく、研究課題内容・研究費内容・リスクアプローチ監査
6. 監査結果及びこれに対する意見
 - (1) 研究課題内容
全ての研究課題について研究計画行程表が作成されていることを確認した。
 - (2) 研究費内容
全ての研究課題の研究費使用状況について会計課が作成した収支簿、及び物品の購入依頼書（支払協議書）、納品書、出張伺書、出張報告書等にて確認した。
会計課において出張旅費振込時の金額相違が1件発生していた、また作成している収支簿の記載誤りが複数みられたことから補正を実施した。会計課には今後、同様の誤りが発生しないように振込金額、収支簿の記載事項の確認の徹底を要請するとともに、担当者以外の職員による収支簿の定期的な確認を提言した。
研究者については購入物品の検収遅延、出張報告書の提出が遅れたことによる旅費の精算の遅延がみられたことから、当該研究者のリスクアプローチ監査時に検収手続き、出張報告提出等を速やかに行うように伝えた。
 - (3) リスクアプローチ監査
購入物品の実査を8研究、旅費使用状況のヒアリングを6研究、その他の支払についてのヒアリングを6研究実施し、物品の実在性、保管状況、出張の状況、その他の支払の内容を確認した結果、特に問題はみられなかった。

以上